

平成26年度 静岡大学 職員海外研修報告書

Tentative Program 2014 Staff Study Visit To Thailand
Friday 21th – Saturday 29th November, 2014

King Mongkut's
University of
Technology Thonburi



Shizuoka University
Mr.Shozo NAGATA
Mr.Norihito HISADA
Ms.Rie TAKAHASHI
Ms.Erika MOCHIKAWA



National University Corporation
Shizuoka University



目次

1. はじめに	3
2. タイの基礎情報	4
3. 就職・留学フェア（静岡県主催）、静岡大学同窓会タイ支部	10
4. キングモンクット工科大学トンブリ校（KMUTT）	12
5. 研修報告	
高橋里江	17
持川依梨佳	23
永田照三	27
久田徳人	32
6. 所感	37
7. 付録	
打合せ等日程	39
KMUTTにおける研修日程（詳細）	40
質問表	41

はじめに

○研修制度の目的

本学における国際交流の推進、国際社会への貢献等、国際化する社会に対応できる優秀な人材を育成するため、本学の職員を海外の大学に派遣し、諸外国における大学の教育・研究の支援体制、事務組織等について研修させることを目的とする。併せて静岡大学が新たに展開する国際戦略「アジアブリッジプログラム」の実施による優秀な留学生の交流（受入・派遣）を積極的に推進するため当該協定校の担当職員との意見交換を行うなどグローバル化に関する意識の醸成を図る。

○主な日程

- 2014/11/21（金） 出国
- 2014/11/22（土） 就職・留学フェア（静岡県主催）、静岡大学同窓会タイ支部
- 2014/11/24（月）～ 2014/11/28（金） 実地研修 キングモンクット工科大学トンブリ校（KMUTT）
- 2014/11/29（土） 帰国

○研修者

- | | | |
|--------------------|--------|---------|
| • 技術部ものづくり地域貢献支援部門 | 技術専門職員 | 永 田 照 三 |
| • 財務施設部調達管理課第二係 | 主任 | 久 田 徳 人 |
| • 学術情報部図書館情報課分館資料係 | 主任 | 高 橋 里 江 |
| • 工学部教務係 | 係員 | 持 川 依梨佳 |

基礎情報(概要)

国名	タイ王国 Kingdom of Thailand
面積	51万3千km ² (日本の約1.4倍)
人口	6,446万人 (日本の約0.5倍) (2012年)
首都	バンコク
時間帯	UTC (+7) (日本との時差は、-2時間)
民族	大多数がタイ族。その他 華人、マレー族等
言語	タイ語
宗教	仏教 94%、イスラム教 5%、その他 1%
体制	立憲君主制
略史	タイ王国の基礎は13世紀のスコータイ王朝より築かれ、その後アユタヤ王朝(14~18世紀)、トンブリー王朝(1767~1782)を経て、現在のチャックリー王朝(1782~)に至る。1932年立憲革命。



国旗は、赤、白、紺、白、赤の5本の横帯(三色旗)で示される。中央の青色は「国王」、白色は「宗教(建国の伝説に登場する白象)」、赤色は「国家、および国民の団結心」をあらわすとされる。



日本からの距離
約4,400km

日本から飛行機で
約6時間

ケッペン気候区分
熱帯性

基礎情報(経済)

- 通貨
バーツ (Baht)
- GDP (名目, 2013年)
3,850億ドル (日本の約8%)
- 一人当たりGDP (2013年)
5,647ドル (日本の約15%)
- 経済成長率 (2013年)
タイ ; 2.9% 日本 ; 1.5%
- 失業率 (2013年)
タイ ; 0.7% 日本 ; 4.0%
- 総貿易額 (2013年)
(1) 輸出 2,254億ドル
(2) 輸入 2,190億ドル

- 主要産業
農業の就業者は約40%、GDPの約12%。
製造業の就業者は約15%、GDPの約34%、
輸出額の約90%を占める。
- 主要貿易品目 (2012年)
(1) 輸出 コンピューター、自動車、
 機械器具、電子集積回路、
 天然ゴム
(2) 輸入 原油、機械器具、電子部品
- 主要貿易相手国・地域 (2013年)
(1) 輸出 1. 中国 2. 米国 3. 日本
(2) 輸入 1. 日本 2. 中国 3. 米国

基礎情報(その他)

○水

水道水は飲まないこと
歯磨きするときの水も注意

○電圧

220V 50Hz
プラグ A型 (日本と同じ2穴)
BF型、C型
日本仕様の多くの電子機器は、
変圧器なしで使用可能

○ビデオ・DVD方式

タイ; PAL式 日本; NTSC式
日本国内仕様のデッキでは
再生できないことがある

○トイレ (使用後の手順)

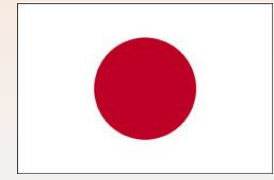
- ①専用のシャワーを使い、臀部を洗う
 - ②ペーパーで水気をふき取る
 - ③ゴミ箱にペーパーを捨てる
- ※ペーパー類を便器に流さないこと



タイ と 日本



×



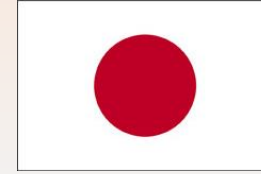
共通点

- 仏教
- 王室・皇室
- 相手に敬意を示す動作
(合掌／タイ、おじぎ／日本)
- 顔つき
(タイ語で話しかけられる)

相違点

- 文化
- 組織体系
- 人事制度
- 業務処理

身近な日本の姿



有名な日本企業

- 車 (TOYOTA、HONDA)
- バイク (**SUZUKI**、**YAMAHA**)
- レストラン (大戸屋、やよい軒)
- その他 (セブンイレブン、ユニクロ、無印良品、100円ショップ)

日本の印象

- 車・バイク (高性能・高品質)
- 日本食 (すし・ラーメン)
- 漫画、アニメ
- まじめ、時間に正確、清潔

タイの英語環境



- タイ語／英語 併記が多い
- 日常的に英語を話す機会あり（英語によるテレビ放送も多い）
- 習熟度に個人差が大きい（意識：語学は、成功への力）
- 英語の発音（タイ式＋米国系／タイ、米国系／日本）
例）タクシー利用時は、タイ語／英語 併記の紙が必要

会話だけでは理解されないこともあるため

英語資料の整備が必要

就職・留学フェア（静岡県主催）

- タイの高校生を中心に
ABP(Asia Bridge Program)について説明
- 検定料、入学料、授業料の免除制度、
入試の時期等について紹介



静岡大学同窓会タイ支部

- 静岡大学の卒業生、静岡県職員、タイに進出した日本企業、静岡大学関係者等が参加
- 静岡大学 ライアン優子先生から
ABP(Asia Bridge Program)について説明
- タイ支部長 ポンペン先生から、
タイの恵まれない子どもたちへ本やおもちゃを
寄附した活動について報告



タイ支部長 ポンペン先生

同窓会は、情報の発信・共有、意見交換の場として
重要な役割があり、国際的な活動には
人と人とのつながりの大切さを実感しました

King Mongkut's University of Technology Thonburi (KMUTT)

มหาวิทยาลัยเทคโนโลยีพระจอมเกล้าธนบุรี

キングモンクット工科大学トンブリ校

創立：1960年

所在地：タイ, バンコク

キャンパス：Bangmod Campus

Bangkhuntien Campus

Ratchaburi Learning Park

学部：3 Faculties, 6 Schools, 1 College



歴史：



1960年 Thonburi Technology Institute (TTI) トンブリ技術研究所として設立

1971年 3つの教育研究機関が統合され、King Mongkut's Institute of Technology (KMIT) となる

1998年 自治権をもつ公立の大学として、King Mongkut's University of Technology Thonburi (KMUTT) となる

2009年 教育省より、国内9つの研究拠点大学のひとつに指定される

2013年11月5日 農学研究科と部局間協定を締結

Number of Students

<u>Total Enrollment</u>	<u>Graduates</u>
Undergraduate : 11,816	2,817
Graduate : 6,097	1,306
Total : <u>17,913</u>	<u>4,123</u>
*2013	*2012

Academic Calendars

1st Semester

First week of August to Third week of December

2nd Semester

First week of January to Third week of May

Summer Vacation

First week of June to Third week of July

Number of Staff

Teaching Staff : 765
Researchers : 127
Supporting Staff / Technical Staff : 1353
Total : <u>2,245</u>
*2013

静岡大学 (2014年度)

学部学生	8,764人
大学院学生	1,549人
非正規生	106人
留学生	313人
計:	<u>10,732人</u>

卒業者数	*2013年度
大学	1,943人
大学院	617人
計:	<u>2,560人</u>

教職員数 計: 1,181人

2015年のASEAN経済共同体(タイやインドネシアなど、東南アジアの10カ国が加盟)発足にあわせて、学年暦を変更した。
新学期が8月に、2学期が1月に始まる。

Bangkhuntien Campus

- School of Architecture and Design
- School of Bioresources and Technology
- Pilot Plant Development and Training Institute and Industrial Park



Ratchaburi Learning Park

The campus can be developed into the country's "Western Educational Park/Industrial Park".



KMUTT Library

研修報告 学術情報部 高橋 里江



▲ KMUTT Library

研修先(日程)	内容
Information Technology System (11/24,27-28)	Library tour 1F, 2F, 5F OPAC Library automation system Interviews about the Library
Technical Services (11/25)	Catalog, Acquisition e-Resource, KMUTT Archive
Information Services (11/26)	Library tour 3F, 4F User service Circulation, Binding

1988年にKMUTT Library and information Centerとして建設され、2000年に“KMUTT Library”へ名称を変更した。Bangmodキャンパスにメインライブラリーがあり、1階から5階までが図書館のフロアである。

利用者へのサービスを行う「Information Service」、図書館システムの管理や講習会の開催、企画展示等を担当する「Information Technology System」、図書館資料の管理を担当する「Technical Service」、そして「Office of the Directors」の4部署に、51名の職員が所属している。

訪問時は大学の試験期間であったため、多くの学生が図書館を利用していた。館内では各自の学習スタイルに合わせて場所を活用する様子や勉強を教え合う学生の姿を見ることができた。

Learning Space: KLINICS

図書館の学習環境に関しては、2005年から順次リノベーションを進めており、それぞれの場所をKLINICSと呼んでいる。

Traditional Library

2005 KLNICS 1 “A Home Away from Home for Learning”

2006 KLNICS 2 Bangkhuntien Campus

2009 KLNICS 3 KM Community



▲ Learning & Information commons

2005年、リラックスして勉強ができる空間として、“Learning & Information commons”が1階に完成する。情報検索のためのインターネット環境、マルチメディア機器類を備えている。また、思考する場所としての“Thinking room”もある。



▲ KM Community

2009年、5階に“KM Community”が完成する。広くオープンな場所にアクリルの透明ボードがあり、学生が議論をしたり、一緒に学習し教え合う場所として適している。

ガラスで仕切られたチュータリングルームでは、デジタルボード等の機器が利用でき、グループ学習に活用されていた。

このフロアには、論文作成を言語面でサポートするなど、学習を支援するアカデミックコンサルタントが滞在し、質問を受け付けている。受付時間はタイムテーブルを掲示していた。

Learning Space: KLINICS



2010 KLNICS 4 “Collaborative Space”



▲ Cafe



▲ Piano



▲ Chess



▲ Active-classroom



▲ Open theatre

2010年には、学内での学生や教員の学習・研究等の活動を支援する共同スペース“Collaborative Space”が1階に完成する。

大型モニターを使って講義を行うことができるエリアがあり、隣接するカフェのメニューを飲食できる場所でもある。他の人とアイデアを共有できるようにオープンなスペースになっている。

学生のためのオープンシアターは、映像を上映する以外にもステージとして研究発表等に使用できる。その他、ピアノを演奏したり、巨大チェスで遊ぶこともでき、学習の合間にリラックスできる環境があった。

Exhibition

年間計画として予算を申請し、年に4回、図書館1階のスペースを活用して展示を行っている。

- University (大学)
- Library (図書館)
- Scientific & Technology (科学技術)
- Culture in Thailand (タイ文化)



▲ KMUTTの歴史を紹介する展示

展示の内容は、大学、図書館、科学技術、タイの文化の4種類で、年間で約30万～40万パーツを充てている。1回の展示期間は1ヶ月～2ヶ月である。訪問時は、大学の歴史について展示されており、歴代学長のメッセージや大学設立当時の写真が飾られ、大変興味深かった。

4回の展示以外に、学生による研究活動の成果発表など、申し込みが多数あり、月に4グループ程を受け入れている。今まで行った展示について、大学の研究を紹介する展示では、研究者の等身大写真パネルを作成し、インタビュー記事を載せたり、学生フォーミュラ大会で受賞したフォーミュラカーの展示の際は、実物と一緒にその解説をポスターパネルで掲示するなど、それぞれの企画に工夫があり、とても印象的で参考にしたいと思った。

また、学生が出展した企画では、学生自身が自分達の活動を誇りに思うことができ、また来館者は、新たな技術や知識に関心を持つきっかけになる、とのことであった。

Library Automated System (LM)



- Thailand ICT Excellence Awards 2013
- Core process improvement projects
- Educational Development Services (EDS): Learning Environment
- E-learning

KMUTT Library では、タイ政府の助成を受けて図書館システム“LM”を開発し、運用している。海外企業のシステムを購入するのではなく、できるだけ国内で開発することが大学の方針とのことである。

2006年、目録システムから開発を始め、2013年にはタイでICTの賞を受賞している。同じく、大学で開発した Learning environment system“LE”という学務システムと連携しており、学生の学習や教職員の教育研究を支援する体制が整っている。

システムの著作権は政府に属し、他の大学も無料で使用することができる。そのため、研修等を通じて同システムを使用する大学の職員との交流を積極的に行っており、相互に協力してシステムの改善に取り組んでいる。

その他

- 「Information Technology System」のe-learningを担当する係では、録画設備のある教室での講義を毎週録画し、編集してアップロードしている。1学期のコースがすべて公開され、見ることができる。
- 大学内のいたる場所で学生同士が学び合う姿が多く見られた。タイの大学では、先輩から後輩へ勉強を教える文化があるとのことである。
- 好奇心を刺激する工夫が館内にちりばめられている。学習・研究のモチベーションを高める創造的な環境と、時にはリラックスできる空間を作っている。
- 図書館で行う講習会では、授業に役立つタブレットおよびアプリケーションの活用方法や文献管理ソフトの使い方などを教員向けに行っている。
- 新しい電子ブックを購入した際には、Facebookで広報している。3年前から行っている。
- 過去の試験問題を保管し、また、近年のものは電子化しており、閲覧が可能である。試験期になると学生の利用が非常に多く、過去問題を参考に学習をしている。
- 図書資料だけでなく、展示室に飾られている「もの」についても、全て目録データを作成し、管理している。展示品は検索ができ、写真が表示される。
- 「Information Service」では、修理製本を自館で行い、専用の裁断機や製本の機械がある。



▲ 科学に関するデザインや素材を館内に展示して、学習意欲を刺激する工夫



▲ 展示品も全てデータ登録し、検索が可能



▲ 手作りで飾るエントランス



▲ 修理製本作業

個別研修中のスケジュール

--工学部教務係 持川の場合--

-Mon.24-	-Tue.25-	-Wed.26-	-Thu.27-	-Fri.28-
<ul style="list-style-type: none"> ▪Introduction on International Activity by Mr. Rom(International Program Coordinator) ▪Try to evaluating students application for International Activity 	<ul style="list-style-type: none"> ▪Introduction on Student Service Hub ▪Introduction on Faculty of Engineering by Dr. Chawin (Assistant Professor) ▪Faculty of Engineering tour ▪Introduction on Petition by Ms. Parjaree (Student Service Officer Faculty of Engineering) 	<ul style="list-style-type: none"> ▪Q&A on Faculty of Engineering to Dr. Annop (Assistant Professor) ▪Prepare a presentation 	<ul style="list-style-type: none"> ▪KMUTT Ratchaburi Campus Tour ▪Introduction on Ratchaburi Campus Life ▪Introduction on Administrative Organization ▪Dormitory tour 	<ul style="list-style-type: none"> ▪Prepare a presentation

KMUTTでの個別研修では「International Center for Engineering (通称ICE)」という工学部の国際化に関するプログラムを担当している部署に受け入れていただきました。研修ではICEが担当している海外へのインターンシップやイベントについて説明を受けたり、工学部内の見学や説明、日本語の堪能な先生との質疑応答の時間等を設けていただいたりしました。また、研修先であるメインキャンパスから150キロ離れた新しいキャンパスへ訪問させていただく機会もありました。

ワンストップ化への取り組み



自動窓口受付機



広々とした窓口と待合席

KMUTTには「Student Service Hub」という部署がありました。卒業証明書等の各種証明書の発行や、休学・退学、履修の追加・修正等、教務に関するサービスのワンストップ化が目的として作られた新しい部署です。学部ごとではなく、このキャンパスに通う全ての学生にとってのワンストップサービスとなっていることに驚きました。休学や退学等、学生異動については「Student Service Hub」窓口で受付後、各部局にて事務処理が行われるため時間がかかるという課題点も伺いましたが、しかしその一方で各種証明書の発行を大学のHPより依頼し、依頼後15分程で発行できることや、左中央の写真にある自動窓口受付機を利用して混雑を解消させるなど、スピーディな対応をとる工夫が感じられました。また、証明書については在學生は費用がかかりませんが、卒業生には手数料をその場で支払ってもらうというやり方も、興味深いところでした。

国際化への取り組み

www.eng.kmutt.ac.th

工学部には「インターナショナルコース」という英語で自分の専攻について学ぶプログラムがあります。驚いたのはこのプログラムが「留学生」のために作られたものではなく「タイ人学生」のために作られたものだという事です。一見聞いたところとてもハードそうだったので、途中で諦める人はいないのかと伺ったところプログラム自体はハードだが、学生同士で教えあい、助け合うので、無事卒業していくとのことでした。確かに、図書館やキャンパス内には教えあうことができるようなスペースが至るところにあり、実際学生同士が教えあう場面が見られたので納得し、日本では人に頼ることを萎縮しがちでも、KMUTTでは分かる学生が分からない学生へ教えるのは当然だという独特の気風を感じました。

図書館内での光景

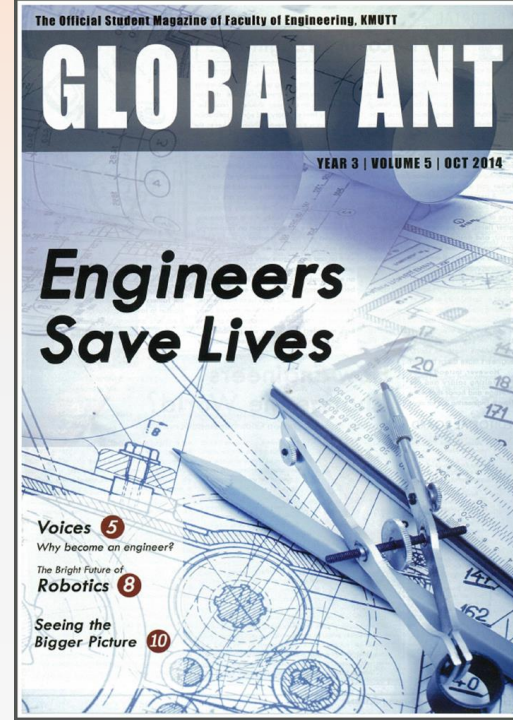


International Engineering

Program

国際化への取り組み

学生への国際化への取り組みはインターナショナルコースの設置だけではなく、ICEでは海外へのインターンシップの仲介や、英語を使用したイベントの開催、雑誌の発行をしていました。また今回の研修中、学生が場面ごとに手助けに来てくれましたが、話を聞くと、この活動は海外へのインターンシップを申し込む際に「Student Activity」としてアピール材料となるそうです。タイ人学生の国際化や英語の修得へ大学全体がかなり力を入れている様子が伝わってきました。



ICEで定期的に発行しているニュースレター及び雑誌



International Center for Engineering(通称ICE)窓口



イベントのチラシ

技術職員としてのKMUTTの個別研修

技術部 永田 照三

- 工学部機械工学科の技術職員 (Technician) のオフィスでの研修となり、7名ほどの技術職員 (Technician) が監視モニタなどのある部屋に居て、機械工学科の技術的な業務の窓口になって日常業務を行っていた。
- 研修は、メインキャンパスであるBangmod Campusでは、主に工学部機械工学科やその他の学科の実験設備等を視察したり、メインキャンパスから車で40分ほどの距離にあるBangkhuntien campusや同じくメインキャンパスから車で3時間ほどの距離にあるRatchaburi Campusへの視察に行ったりするという内容だった。
- KMUTTの担当Buddyやそのオフィスメンバー (右写真) は、語学力に乏しい私にとっても気さくに接していただき、とても楽しい研修となった。



私を担当してくれたBuddy
(左から2番目)の
Mr. Pithayodom Kanbuaと
そのオフィスメンバーと
本人(右から3番目)

工学部機械工学科の研究室や実験設備の視察

ここでは、主にエンジンに関する研究や実験設備が多く、日本のエンジンを改良していることを知ることができた。



Combustion and Engines
Research Laboratory



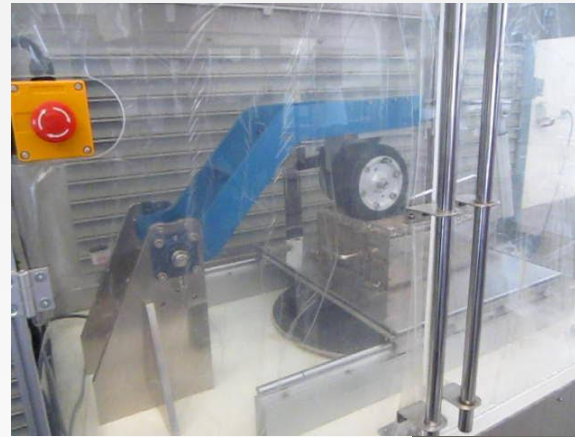
Engine Electronics Systems

工学部の他学科の研究室や実験設備の視察

風力発電の実験設備や静岡大学にはない土木工学専攻などは、そのスケールの大きさと珍しさで大変興味深かった。



The test of wind-power generator



Strength test



Earthquake-resistant test

Department of Civil Engineering

他のキャンパスでの設備や取組の視察①

Bangkhuntien Campusでは、主にCES Solar Cells Testing Centerやバイオ化学の研究室を視察し、様々なソーラーパネルの試験工程を体験することができた。



CES Solar Cells Testing Center
Bangkhuntien Campus

他のキャンパスでの設備や取組の視察②

Ratchaburi Campusでは、Engineering Workshopの取組がとても興味深く、この取組は学生にボール盤、旋盤、フライス盤、溶接などの工作技術を一通り実習させ、その成果としてオリジナルの電気スタンドを設計・製作させコンテストで競わせるという取組で、学生の創造性と高い加工精度の素晴らしさに感銘を受けてとても参考になった。



Engineering Workshop
Ratchaburi Campus

Monday 24th – Friday 28th November, 2014
relating offices

Treasury Office jointly with
Procurement And Asset Management Office
Internal Audit Unit

Finance and Facilities Affairs Division NORIHITO HISADA

財務施設部 調達管理課第二係 久田徳人

安全教育

項目	Shizuoka University	KMUTT
専門部署(機関)	あり	あり
授業、訓練	あり	あり
テスト	なし	あり
有効期間	-	2年
対応時間	業務時間 (08.30-17.15)	24時間
対応言語	日本語(主に)	タイ語／ 英語

KMUTTは、入試により英語能力が担保されているため、
どの国の留学生に対しても24時間の対応が可能

決算方法

○主な手続き方法は、同じ

○相違点

項目	日本 (Shizuoka University)	タイ (KMUTT)
国からの監査	3～4年に1回	毎年
検査期間	1週間	4～6月
国への提出 官報公告	あり	あり
ウェブ上の掲示	あり	なし

タイの決算は、
国からの監査を毎年受け、検査期間が長いのが特徴

静岡大学の強み

- 富士山
- SUZUKI、YAMAHA（タイの有名企業）
- 抹茶（日本茶）
- しずっぴー
（静岡大学公式キャンパス・キャラクター）

しっかりとした大学教育を基礎として、
どのようなことがタイの人々の興味を引くか

国際化への取り組み

- 経験豊富な職員の確保
- 英語資料の整備
- 学生への支援体制強化
(24時間対応、チューター、バディ等)

国際化への歩みとして、
上記事項を確実に実施することが重要

所感

学術情報部図書館情報課分館資料係 高橋 里江

今回の研修では、情報交換やミーティングのみでなく、実際の仕事も体験させて頂きました。関連部署である図書館での研修に多くの時間を頂けたことで、見聞きするだけでは気がつかないことも知ることができ、たいへん有意義で貴重な経験となりました。

研修期間を通して、各業務毎に担当の方がとても丁寧に対応していただき、館内の設備や業務内容を詳しくお尋ねする機会を頂きました。特に、バディのウェルさんには、5日間にわたって大変お世話になりました。

KMUTT Libraryには、研修期間中にも国内外の大学関係者が見学や研修に訪れており、KMUTTがインターンシップや職員研修の受入に積極的であることが分かりました。時には一ヶ月や半年など、長期の研修を行う場合もあるとのことでした。今後の交流につながるという意識を持って、教職員が協力して受入体制を構築している印象を受けました。

KMUTTでは国際交流オフィス、関連部署の図書館の皆様、先生方にお世話になり、多くのことを学ぶことができました。今回、このような貴重な機会を頂いたことに感謝いたします。また、研修に送り出して頂いた本学職員の皆様と一緒にタイでの時間を過ごした技術部の永田さん、調達管理課の久田さん、工学部の持川さん、本当にありがとうございました。

工学部教務係 持川 依梨佳

研修初日のキャンパスツアーで図書館に行った際、世界及びアジアでのKMUTTのランキング経過がパネル展示されているのを拝見し、着実に順位を上げているその図からKMUTTの勢いの強さを漠然と感じました。その感覚は一瞬にとどまらず、研修期間中の会話や実際の取り組みのなかで更に強く感じていくものでした。KMUTTには皆で助け合う独特の気風がありました。それが学生だけでも教職員だけでもない、大学全体一丸となつての国際化、世界トップへの道をさらに後押ししているように思います。

このように国際化が進んでいるKMUTTの研修に参加させていただいたことで真っ先に感じたのは自身の英語力不足です。国際化には当然に要求される力ですが、日頃の業務中には危機感や必要性を認識することはほとんどありませんでした。今後ABPプログラムが始まり、必要となつてからすぐに身につくことのない力に、今向き合うことができよかつたと思います。このような貴重な機会を与えてくださった関係者の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。



所感

技術部ものづくり地域貢献支援部門 永田 照三

今回のこの海外職員研修では、準備期間もほとんどなくタイトなスケジュールで大変でしたが、関係者や他のメンバーなどに助けられて留学フェアやKMUTTの研修など様々な体験ができて、とても良い経験になりました。今後は、この経験を活かして学生への実習や技術部での業務の幅を広げていきたいと思えます。今回のKMUTTの研修では、良い設備や取組などがたくさんあり非常に良かったが、我々技術職員は学生と直接接する実習や実習などを主な業務としているので、その部分の取組などを実際に視察できなかったのが残念だった。この研修が、大学（KMUTT）の試験期間中だったため仕方ないことだが、今後技術部からの研修への参加の際には、それらの日程調整もある程度考慮に入れていただけるとより良いものになると思えます。さらに、今後も技術部からの継続的な参加とこの研修の逆で海外の大学からの技術職員の研修を受け入れる場合の対策などの検討も今後は必要だと思えます。最後に、今回技術部からこの海外職員研修に初めて参加させていただくことができたのは、水野統括技術長の働きかけとそれを快く了承してくださった前田事務局長や石崎総務部長などの関係者だと伺っておりますので、この場を借りて感謝申し上げます。



また、今回この海外職員研修に共に参加したメンバーの3名の方々には、語学力に乏しい私としてはとても色々とお助けいただきましたので、深く感謝いたします。

財務施設部調達管理課第二係 久田 徳人



バンコクは、

発展している部分とそうでない部分が混在する

人々は、何をすれば豊かになれるのかを肌で感じる環境にある

そのことが、良い教材になっていると感じた。

短い準備期間と厳しい研修内容に困惑することが多々あった。

得られたことも大きく、KMUTTの支援体制・組織運営のあり方は、とても勉強になった。

多くの方々に支えられ、無事に研修を終えられたことに感謝申し上げます。

打合せ等日程

年 月 日	事 項	内 容	等	備 考
2014/10/20	海外研修者の決定			
2014/10/27	第1回打合せ	過去の海外研修、調査内容について確認		研修者4名
2014/10/29	訪問先(KMUTT)について確認			ライアン優子先生、研修者4名
2014/10/29	訪問先へ申込書を提出			研修者4名
2014/10/31	訪問先へ履歴書(CV;Curriculum Vitae)を提出			研修者4名
2014/11/05	第2回打合せ	質問表の最終確認		研修者4名
2014/11/06	調査日程の決定			
2014/11/13	第3回打合せ	オリエンテーション前の調整		研修者4名
2014/11/13	オリエンテーション	研修の目的・内容・出張等について情報共有		石崎総務部長、田中職員課長、池谷職員課主任、伊藤国際交流課長、小林国際交流課係長、研修者4名
2014/11/13	学長・事務局長への挨拶			研修者4名
2014/11/14	質問表を送付	国際交流課からKMUTTへ配付		
2014/11/19	第4回打合せ	出発前の最終確認		研修者4名
2014/11/21	出国			
2014/11/22	就職・留学フェア(静岡県主催) 静岡大学同窓会タイ支部			
2014/11/24	実地研修 キングモンクット工科大学トンブリ校(KMUTT)			2014/11/24～ 2014/11/28
2014/11/29	帰国			
2014/12/09	第5回打合せ	拡大事務協議会の資料打合せ①		研修者3名(久田、高橋、持川)
2014/12/11	第6回打合せ	拡大事務協議会の資料打合せ②		研修者4名
2014/12/16	拡大事務協議会において報告	テレビ会議システムを使用し浜松から報告		研修者4名
2014/12/19	研修後の意見聴取	今後の改善事項等		小林国際交流課係長、池谷職員課主任、研修者4名
2015/02/23	第7回打合せ	最終報告資料の打合せ		研修者4名
2015/02/27	最終報告書の提出			

KMUTTにおける研修日程(詳細)

Date	Time	Activities	Venue
Mon. 24	TBA	Leave the hotel for KMUTT	Meet at the lobby, please notice 'KMUTT' sign board
	9.30	Leave your laguages at the Office of International Affairs (IA)	IA, the 6th flr., the Office of the President Building
	- Start a study visit program -		
	9.45 – 9.50	Registration	Room No. AD-413, , the 4th flr., the Office of the President Building
	9.50 – 10.00	Welcome by KMUTT executive/ a representative of IA	
	10.00 – 10.15	Introduction on KMUTT	
	10.15 – 11.00	Campus Tour	
	11.00 – 11.30	Break	
	11.30 – 11.45	Meet and Greet with Thai buddy	
	11.45 – 12.00	Introduction on Shizuoka University	
	12.00 – 13.00	Lunch hosted by KMUTT	
	13.00 onwards	Move to relating office	Relating office(s)
15.30	Back to IA and move to a housing	IA, the 6th flr., the Office of the President Building	
Tue. 25 - Thu.27	08.30 – 16.30	Study visit at relating office(s)	Relating office(s)
Fri. 28	08.30 – 12.00		
	12.00 – 13.00	Lunch hosted by KMUTT	Mulipurpose terrance, the 9th flr., the Office of the President Building
	13.00 – 13.15	Preparation for a presentation	Room No. AD-413, , the 4th flr., the Office of the President Building
	13.15 – 14.00	Presentation on '2014 Staff Study Visit' by Shizuoka staff	
	- End of a study visit program -		
Sat. 29	TBA	Leave KMUTT for Suvarnabhumi International Airport	

質問表 1/6

field	項 目 topics	質 問 事 項	Questionnaire entries (English translation) questionnaire
General Information 一般事項	1 収入・支出 financial statement	収入規模・収入内訳・支出内訳・近年の推移を教えてください。	Please share with us the university financial statement including comprehensive income and changes in recent years.
	2 授業料額 admission fee and tuition	入学料や年間授業料を教えてください。	How much is admission fee and tuition per year for international students and local students?
	3 大学運営日 academic schedule	夏季休暇の期間等	Could you give us a detailed academic schedule?
	4 会計年度区切り financial year	会計年度の区切りの時期について教えてください。	When does the fiscal year start in Thailand?
	5 学生数、教員数、事務職員数 number of faculties, staffs and students	学生数、教員数、事務職員数を教えてください。	How many students, faculties and administrative staffs are there in King Mongkut's University?
	6 国際化の取組 international exchange	海外からの研究者交流、学生交流に係る組織体制や制度等の現状	What does your university do to facilitate university international exchange such as researchers and students?
Admission 入試制度	1 入試の頻度と種類 general information of admission	年間に行われる入試の内容について 入学の時期について確認	What kinds of the admission tests do you have? When does academic year start in Thailand?
	2 留学生特別入試 general information of admission for International students	留学生向けの入試について	Is there admission test for foreign students? If so, please tell us about that.
	3 学生の確保について admission promotion and publicity	優秀な学生数を確保するために行っていること、広報など	What is your approach or strategy to recruit good/excellent students? Do you have demo lectures in high school and open campus day for high school students?
Student affairs 教務関係	1 単位・共通科目 credit required for graduation	卒業(修了)までの標準修得単位数	How many credits are required for graduation? (Bachelor, Master, Doctor)
		卒業単位における共通科目(英語等)単位の割合、外国語科目の単位数と割合	How many credits is the Core curriculum? How many foreign language credits does a student need to take for graduation? What percentage is that?
		1単位における学習時間の確保について	How many class hours and how many self-study hours does a student need for one credit? How many credit hours can a student take per semester?
2 成績評価 grading policy	評価方法(得点等)について	We would like to know grading policy and system in King Mongkut's University.	

質問表 2/6

field	項 topics	目	質 問 事 項	Questionnaire entries (English translation) questionnaire
Student Services 学生支援	1	学生生活のサポート scholarships and campus life support	奨学金等の経済的支援や施設整備等の環境的支援について 学習環境の整備について	Do you offer any scholarships for students who need financial support? If you have, how much is the grant? Are your university working on specific facility improvement plan for student life in campus?
	2	学生寮について dormitory	収容人数、料金、予算確保方法	How many students housing are available? Please tell us the capacity of dormitory and rent? Which organization manages the housing and who manages its budget?
	3	学生食堂について cafeteria	規模、料金、運営組織(内部or外部)	Please give us the number of cafeteria and its size, who run it?
	4	学生の就学指導について advising services	職員がどの程度介入し、どのような形で支援にあたっているか	Do your university staffs give advice on degree requirements and planning to students? Are they advised on what class they need to be complete and be assisted in finding them?
	5	学生相談について counseling services	問題を抱える学生への対応方法、部局間の連携体制、教職員の役割	Is there counseling service for students? Who mainly cares a student who needs support? What are the responsibilities for teaching staff and administrative staff in this case?
	6	留学生対応について services for International students	留学生受入の条件、入学後の支援体制、授業実施方法(外国語による授業など)	Who takes care of international students' campus life? Do you offer classes taught in English?
	7	就職(進学)支援について career support	就職(進学)状況、就職支援体制について	Please give us the employment rate for your college graduates.
	8	障害学生対応について supports for handicapped students	障害学生の把握、支援方法(学生、授業実施方法など)について	What kinds of supports for handicapped students do you have? How do you hear type of their disabilities from a handicapped student?
	9	学生からの要望について student' opinion	学生からの要望の把握と対応	How do you hear student's opinions and requests regarding university?

質問表 3/6

field	項 topics	目	質 問 事 項	Questionnaire entries (English translation) questionnaire
Engineering education and training 実習関係	1	技術職員 technical supporting staff	技術職員の組織のようなものはありますか？ その人数を教えてください。	Is there any organization which is intended only for technical staff in King Mongkut's University? If there is, how many staff is belonging to?
	2	教育・研究支援 technical support for education and research	技術職員の教育と研究における役割を教えてください。	What kind of role do technical staff have in educational and/or research field?
	3	工学部の全体実習 educational program of mechatronics for fresh persons to faculty of engineering	工学部全体(1年生)の実習について特徴を教えてください。	Do you have any special technical training courses (curriculum) for the first year students of the faculty of engineering?
			工学部全体(1年生)の実習教材は何を使用されているか教えてください。	Do you have any special materials in teaching of practical courses for the first year students of the faculty of engineering?
	4	ロボットコンテスト robot contest	大学の实習などでロボットコンテストのような取り組みはありますか？ どのように行われていますか？(対象、規模)	Is there any special activity for students such as robot contest in King Mongkut's University? If there is, who and how many students participate, i.e. school year and the number of students?
	5	実習に関連した地域貢献 educational projects for promotion of science and technology in local schools area	実習に関連したものづくり講座などの地域貢献の取り組みはありますか？ どのように行われていますか？(対象、規模)	Are you holding any events such as Robot contests intended for local people inhabitants to contribute to local education and culture? If you have, who and how many people can be participated?
	6	安全教育 safety education curriculum	実習における安全教育について教えてください。	Do you have any safety education curriculum for student?

質問表 4/6

field	項 目 topics	質 問 事 項	Questionnaire entries (English translation) questionnaire
図書館関係 Library	1 学習環境の整備 Improvement of learning and research environment	ラーニング・コモンズのような学習環境が図書館で必要とされていますか？ラーニング・コモンズのコンセプトと特徴を教えてください。また、その学習効果についてはどう考えますか？ 学生はどのような目的でラーニング・コモンズを利用しますか？学部生、大学院生、留学生による利用の違いはありますか？また、各学生へのサービスやスペースが用意されていますか？	Do you think the library is expected to have the learning environment as "Learning Commons"? Please tell us the concept and feature of your Learning Commons. What do you think about the effect of that kind of environment? For what purposes do your students use the Learning commons? Are there any differences between the graduate, undergraduate, and international students? Do you offer a service and space for each student?
	2 教育プログラムとの連携 Relations with the educational program	カリキュラムとの関連性を重視した利用者教育、情報リテラシー教育が行われていますか？教員との協力体制と学習成果について教えてください。	Does the library educate students focusing on the curriculum and information literacy? Are the contents of service changed according to a student's volition and skill level? Do the teaching staffs and administrative staffs work together for this kind of education? And how about the effect of this activities?
	3 学習スキル習得のためのサポート Learning support	大学での学び方、論文作成やプレゼンテーションなどを指導するサービスがありますか？人的サポートの体制、学生の利用状況について教えてください。	Does the library offer services such as advising students for learning philosophy and writing papers or giving presentations? Are there enough staffs for serving students at library? How to support of students' learning? Please tell us the support by the tutor or peer supporters etc.
	4 学術リポジトリなど research products	研究成果の保管と公開のため、どのような体制で取り組まれていますか？学術成果の効率的な収集方法や公開された学術情報の利用促進のため行っている活動はありますか？	Please tell us how the library keeps/opens the research products. How does the library collect the research products effectively and promote the use of open academic information?
	5 学内組織との関わり Collaboration with other units of university	学内他部署と連携して行う活動はありますか？例えば、アカデミックリエゾンによるサポートデスクなど、どのように協力して、学習や研究の支援を行いますか？	Does the library work with the faculties or administrative sections for some activities? How do you provide the learning support and research support to cooperate? For example, support desk for academic subjects by subject liaison.
	6 学生との連携 Cooperation with students	学生アシスタント等、図書館運営への学生参加をサポートする体制はありますか？学生参加の活動について教えてください。また学生の図書館への積極的な関わりを勧めるための工夫はありますか？	Do you hire students as assistant in order to encourage students to be involved in library work? Please tell us about the activities of student. Do you have any ideas for you recommend the active involvement of students in the library?
	7 研究支援 support of faculty's studies	どのように研究者の研究をサポートしますか？研究支援を行うため、職員のトレーニングはありますか？図書館が研究支援を学ぶことに関して大学の研究者と協力していますか？	How to support of students' learning and faculty's studies? Please tell us the support by the tutor or peer support etc. Do the library cooperate with researchers and/or education in your university with regard to support?
	8 留学生へのサービス Services for international students	留学生へのサービスについて教えてください。留学生やこれから留学する学生のための行事やサービスがありますか？留学生と学生がお互いに交流する場所が図書館にありますか？	Please tell us about services for international students (students from overseas). Does the library offer events or services for them? Is there a place where students who study abroad and international students to interact?
	9 地域企業との協力 Cooperation with local companies	地域の企業と協力したサービスを提供していますか？学生や研究者と地域企業との関係を築くための効果的なサービスや交流の機会について教えてください。	Does the library work with local companies to offer some services? What kind of opportunity does the library have in order to create effective services for the connection between the students and researchers and local companies?

質問表 5/6

field	項 目 topics	質 問 事 項	Questionnaire entries (English translation) questionnaire
Finance 資金関係	1 研究費・運営費 university funds research funds	研究費・運営費等の獲得方法等について	Do you implement any strategies to get research funds and donations from company or government?
		外部資金受入に伴う、学内インセンティブ(予算措置等)の状況	How do you allocate the budget? Are you changing the allocation by the acquisition status of external funds?
		大学運営費の使用について広く学生の意見を反映させる制度について	Does your university reflect students' opinion about the way of using for funds from governments?
Accounts/purchasing goods 会計関係・物品購入	2 寄付金 university funds contribution	基金の制度について	Do you have university funds? What is purpose of the fund?
	1 伝票処理の方法 purchase to payment	入力者、書類の流れ	How do you process from purchase to payment?
	2 発注権限範囲 limit the ordering authority	金額や内容によりどのように異なるのか	How much do you limit the ordering authority in respect of price?
	3 競争入札 competition Purchas	競争入札の方法	How do you process a competition Purchase ?
	4 物品等の検収体制 (購入物品が書類上は納品されていて、その費用も支払われているが、実際には物品の納品がされていない等の不正等) purchasing goods	不正防止の観点からどのようにおこなっているか	How do you inspect purchasing goods?
	5 監査体制 internal inspection system	組織・監査方法・権限・罰則等	What kind of internal inspection system do you have?
	6 外部資金の会計処理および決算業務 accounting treatment and accounting report of external funds	専門の部署がおこなうのか	Which department has made the business of accounting treatment and accounting report of external funds?
7 経費削減(アウトソーシング等)の取り組み cost reductions		How do you implement cost reductions?	

質問表 6/6

Field	項 topics	目	質 問 事 項	Questionnaire entries (English translation) questionnaire
Risk management 災害対策	1	防災 preparation for disaster of emergency situation	災害時の避難場所、備品や食料品の備蓄について	Are there refuge areas in your university? What do you prepare food stock and material for emergency situation such as by natural disasters?
	2	訓練 emergency evacuation plan	災害時を想定した訓練の有無とその取り組み内容等について	What is your emergency evacuation plan and procedures in case of emergency?
	3	教育 preparation for disaster of emergency situation	防災に関連した授業やガイダンスについて	Do you have any classes and guidance for disaster prevention? If so, please tell us about that.
	4	危機管理 safety confirmatio nsystem	災害発生時の安否確認について	Do you have a safety confirmation system for students and faculties in case of emergency?